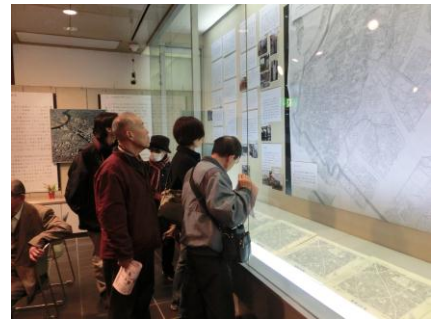


〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3 TEL044-813-4705 FAX044-814-0250 <http://furusatokan.web5.jp/>企画展・文化講演会 **郷土の地名に親しもう**

～川崎区を中心に～ 2.19～3. 4

昨年までの企画展では川崎市内6つの区の地名を順次紹介してきましたが、この度は最後の川崎区を特集しました。「川崎」という地名の由来をはじめ、旧東海道川崎宿で賑わっていた宿場の4町、周辺の11村の紹介を皮切りに、区内の地名を順次ブロックごとに紹介しました。その昔、多摩川が大雨の度に暴れ川と化していたことから生じた地形や場所の名、また多摩川が南流していたことからつけられた地名、遠浅の海を埋め立てて出来た新田や人工島につけられたもの等川崎区ならではの地名を紹介することができました。

初日の2月19日(日)の文化講演会では、日本地名研究所の金子 欣三氏、鈴木 茂子氏によって個々の地名を詳しく説明していただきました。開催前から講演会の問い合わせを幾人もの方から頂



いていましたが、講演会当日は会場がいっぱいになる盛況で、たくさんの皆様が熱心に講師の方の話に聞き入っておられました。今回も日本地名研究所、地名資料室、川崎・砂子の里資料館から貴重な資料を多数提供していただきました。感謝申し上げます。携わったふるさと館の業務員も、様々の地名の由来を学ぶことができた地名展でした。

郷土理解講座 盛況裡に！

～多摩川に虹をかけた男・田中兵庫～

平成23年、最終の事業として12月14日(水)に開催しました。多摩区在住の劇作家(落日の舞など)で活躍されている小川信夫先生を講師にお招きしました。

受講者は時にユーモアを交えながら、荒廃した二ヶ領用水の治水工事に命をかけた、兵庫の農政家としての知恵と実践力を熱く語る講師のお話



に引き込まれていました。また、兵庫を通して蘇る「人間・晩年の生き方」など参考になるお話を伺うことができました。

講演後、「川崎に住んで60年、近くを流れている用水ですが、何も知らないで過ごしてきました。・・・川崎市の発展の原点が判りました。」

「先生の話し方、間の取り方、人物の説明などまるで舞台を観ているよ



うだ。兵庫の人物像がよく分かった。」などの感想が寄せられました。(参加者 52人)

子ども大山街道探検クラブの活動

1月～すころく遊びで大山街道を探検～



1月の活動は大山みちの会の皆さんの手作りの双六で、赤坂御門から大山までの道中を巡りました。子どもたちは、大きなサイコロを転がし出たサイコロの目を慎重に数えながらゴールに向かって進んでいきました。一喜一憂する子どもたちの表情は真剣そのものでした。双六遊びを通して、大山街道のことがより理解できたようです。



2月～どんな研究発表にしようかな！～



2月の探検クラブは3月7日に予定されている研究発表会に向けて準備と練習をしました。

夏休み中に作成した作品（模造紙にまとめたもの）や一年間の活動を通して発見したことや、できるようになったことなどの発表を考えています。子どもたちは、発表の内容をメモにしたり、模造紙にまとめたことを声に出して読んだりと当日に備えて熱心に練習していました。



お知らせ

～市民の郷土理解を深める事業の推進～

ふるさと館では、大山街道に係わる歴史、民俗などに関する資料や、ゆかりのある人々の美術・文学作品をとりあげ、郷土について理解を深める文化事業を企画し推進します。



9月までに予定している事業の概要は次の通りです。

☆**常設展**：地域の歴史・民俗資料や、ゆかりの作家の文芸作品などを、年間を通して展示していきます。会場は1階の展示室です。

☆**企画展**：高津区区民祭参加事業として、郷土史研究家の方の資料や著書などの展示を予定しています。

期間は7月中旬から7月下旬までです。

【23年度常設展】

☆**高津区老人クラブ連合会作品展**：高津区内の老人クラブ連合会会員の皆様が趣味の教室で制作した絵画、陶芸、書、編み物などの作品を展示します。期間は6月28日から7月2日です。

☆**文化講演会**：第1回講演会を9月15日（土）に開催します。講師には歴史研究家をお招きして、街道沿いの庶民の生活を中心に講演をお願いする予定です。

当館発行の「館だより」や「案内パンフレット」又はホームページをご覧ください。